

NHK 大河ドラマ「平清盛」の音楽担当でもある作曲家の吉松隆さんの Web ページ「月刊音楽探偵事務所」(2012/04/10 付)がおもしろい。「音楽の修得というのは、人生や旅と同じだ。真っ直ぐ最短距離&最速時間で目的地に着いてしまったのでは、面白み深みは得られない。寄り道をし回り道をし、さらに道に迷い人に道を訪ね、色々な思いがけない風景や人に出会うことで『豊かな旅(人生)』になる」のだそうです。深い。

＃岡山フルートの会 2012 年度総会のお知らせ

日時：5 月 13 日(日)10:00～12:00

場所：長谷川楽器店 3 階ホール

4 月号に同封の参加調査ハガキをご返送のうえ、総会にご参加ください。ハガキの返信締切は 5 月 10 日(木)です(当日消印有効)。

＃お知らせ

山野智子さんが 4 月から FM ぐらしきの音楽番組に出演しています。毎月第 4 日曜日の午後 9 時～10 時 30 分の「ミュージック・ストリート」です。クラシックからポップス、ロック、ワールドミュージックまで、ヨーロッパやアジア、アフリカ、日本など、いろいろな国の音楽をかけていく予定です。皆さん、ぜひお聴きください。5 月は 27 日(日)、6 月は 24 日(日)です。

＃フェスティバルを終えて

3 月 25 日(日)に岡山市立市民文化ホールで、第 33 回日本フルートフェスティバル in 岡山を開催しました。以下は、実行委員長の藤澤さんの報告です。

実行委員長 藤澤桂子

演奏会の実行委員会は毎年 9 月頃開かれ、曲目や企画などを話し合い、12 月の初回練習から年始以外は毎週練習を重ねて演奏会を行っています。毎年、初めての参加の方もいますが、会員の方々の努力と経験が活かされた演奏会になったように思います。

まずは、毎年オープニングを飾る「ジュニア」の部。地元の作曲・編曲家、伊豆丸真美先生編曲/サンサーンス作曲：「動物の謝肉祭」より 9 曲が演奏されました。指揮は熊瀬 好さんで、打楽器も加わり元気いっぱいの演奏をお届けできました。ジュニアの演奏にはいつも刺激を受けます。

次に第 14 回岡山学生フルートコンクール優勝者の演奏です。まず、小学生の部は古賀奏美さんによるシュターミッツ作曲：フルート協奏曲ト長調より第 1 楽章が演奏されました。小さな体いっぱいに音楽を表現され、観衆も引き込まれていくようでした。

中学生の部では道満由貴さんがタファネル作曲：「ミニヨン」の主題によるグランドファンタジーを堂々と熱演されました。今後の益々のご活躍を期待しております！

前半最後のステージは一般・社会人グループのフルートアンサンブル「ルミエール」です。ジョブリン作曲：エンターティナーとアメリカ民謡：オーラリーを私が指揮させていただきました。前日練習では緊張していたようですが、本番は楽しんで演奏されました。実行委員長で忙しかしていたところ、ルミエールの方々は着替えを済まされてからも舞台転換など積極的にお手伝いくださって、大変嬉しく思いました。

短い休憩の後は、第 15 回日本フルートコンヴェンション 2011in 滋賀にて受賞された 2 組のアン

サンプル演奏です。まずは、「ざ・ピーなっつ」によるショッカー作曲：デンジャラスデュエットより第1・第3楽章です。小学生と思えない暗譜での素晴らしい演奏でした。

そして、フルートアンサンブル「ローザ」は、ひし形に4人が並ぶという見た目にも興味津々の配置。この配置の方が「音のバランスがよかった」と好評だったそうで、より良い演奏には固定観念は必要ないのかもしれませんがね。曲目は八木澤教司作曲：フィオリトゥーラとアンジェリス作曲：ランニングの2曲を大人の魅力たっぷりに演奏してくださいました。

次は、岡山中心に活躍するプログループ「セレーナ」。指揮は安達雅彦さんで、曲目はチャイコフスキー作曲：イタリア奇想曲を演奏しました。今回はコントラバスフルートが3本も加わったこともあり、出来上がったDVDを聴いて中低音の大切さを改めて実感しました。

最後は全員参加のフルートオーケストラ「アヴァンテ OKAYAMA」の演奏です。ドヴォルジャーク作曲：交響曲第8番より第3楽章とチャイコフスキー作曲：セレナード「ワルツ」作品48の2曲を演奏しました。指揮は岩崎範夫さんです。アンコールは「ジュニア」も加わり総勢約110名による「四季の詩情メドレー」の演奏で会場中にフルートの音色が響き、終演となりました。

贅沢を言えば、演奏会に不参加の会員の方々にも演奏会をお聴きいただきたいと感じました。演奏する事も素晴らしいですが、演奏を聴き仲間たちの応援もお願いできれば嬉しく思います。来年の演奏会は3月3日に開催予定となっています。

最後になりましたが、展示ブースでお世話になりました各フルートメーカー様、練習場所をご提供くださった長谷川楽器店様はじめ各会館の方々、文化ホールのスタッフの皆様、ご指導くださった諸先生方、私をサポートしてくださった実行委員と会員の方々に心より御礼申し上げます。

#演奏会案内

♪5月コンサート

日時：5月22日(火)開演 18:00(開場 17:45)

会場：岡山大学 北音楽棟 3F ホール

曲目：パルティータ&“ゴースト”(G.ショッカー)フルート3重奏によるソナタ ロ短調(J.S.バッハ) 他

入場料：無料

出演：諸田大輔さん、池田里奈さん、岡本亜沙美さん、大賀美紀さん、柴田真帆さん

お問合せ：090-9677-6832(諸田さん)

#星っさんコーナー (その76)

「バッハ・無伴奏パルティータ」

顧問 星島明郎

J.S.バッハに「無伴奏フルートのためのパルティータ」という曲があります。最近私の生徒(高校生)にこの曲をさせることになって、改めて私も勉強を始めました。このパルティータ(Partita)は4曲からなる舞曲として作曲されていますが、その第1曲目がアルマンデ(Allemande)です。アルマンデは最初の頃(1550年頃)は緩やかなテンポのものでしたが、時代と共に様式も変化して、速度感も幾分速いものになっていったようです。このアルマンデは全曲を通して16分音符の連続で、休符は第1小節目の最初の16分休符以外は1箇所も書かれていません(ベーレンライター版の最後の2番かっこ内に1つあるが)。つまりブレスする場所が無いのです。そのため一般的にはフルート以外の楽器(弦楽器や鍵盤楽器)のために書かれたのではと言う説が多いけれど、そうではなく、いろいろな理由をあげてやはりフルートのために書かれたという意見を持つ人(吉田雅夫先生など)もいます。天国のバッハさんに聞いてみないと分かりません。それはさておき、私がこの曲を練習するために書棚から持ち出した楽譜が、フルートの神様とも称えられるマルセル・モイーズ作の「バッハのアルマンデによる50のバリエーション」です。若い頃手に入れていた楽譜で、モイーズ自身が自分の練習のため、そしてバッハの曲に対する解釈の裏づけをより強固なものにするためにあらゆるアーティキュレーションを50のバリエーションで試みたものです。私もこの中の

数曲は、重要な音や隠された旋律を探したり、ブレスの場所を考えたり、解釈の手がかりに使わせて貰っていましたが、改めて吹いてみると、考えられるアーティキュレーションの多さに驚かされました。このアルマンドは音楽的にも素晴らしく美しい旋律だし、何度くり返し吹いても厭きることなく吹けます。この曲集は多彩なアーティキュレーションと自由なタンギングの勉強のために是非生徒たちに使わせたい教材だと思いました。

かつて吉田雅夫先生が、「ギリシャ時代には立派な人間になるための学問の一つに音楽があり、西洋の僧侶が瞑想し、東洋の僧侶が座禅によって精神集中するように、われわれ凡人はフルート演奏に精神を集中することによって瞑想や座禅と同じ精神修養ができるのだ」と言われたのを思い出します。バッハのアルマンドは、まさにその為の音楽のように思えます。しばらくはモイーズの50のバリエーションに入り込みたいと思っています。

＃ルミエールからのお知らせ

第1回練習

日時：6月3日(日)10:00～12:00

会場：東山公民館 講座室

東山公民館(平井小学校となり)岡山市中区平井4丁目13-33

第2回練習

日時：7月8日(日)10:00～12:00

会場：東山公民館

ルミエール：フルートアンサンブルの楽しさを共有する社会人のグループ(大学生も大丈夫です)。

今までにルミエールで出演された方だけでなく、ルミエールに興味ある方や、上手く吹けないけれどアンサンブルをしてみたい方など、参加してみませんか。参加を希望される方はメールでご連絡ください(楽譜の準備が必要なため)。

なお、ルミエールの今後の曲目決めなどを相談する食事会を総会の後に行います。食事は、「越」の幕の内弁当または廣珍軒の予定です。ルミエールのみなさま、総会だけでなく食事会にもどうかご参加ください。準備の都合上、食事会にご参加の方は総会前日(5/12)までに藤澤さんにご連絡ください(090-8608-2668)。

＃演奏会情報&チラシの会報への同封について【重要】

演奏会情報は5月25日(金)までに西原明弘さん(会報係チーフ)に連絡してください。また、演奏会のチラシを会報封筒に同封・郵送(原則として奇数月のみ)を希望される場合は、A4版三つ折りにした状態で長谷川楽器店に持参してください。その際、必ず事前に会報係チーフに連絡し、会報発送数を確認してください。

西原明弘さんの連絡先：badflute@gmail.com

＃チラシをホームページに掲載する方法について【重要】

演奏会のチラシを岡山フルートの会のホームページに掲載してほしい会員は、チラシを折らないでホームページ係チーフ(柴田さん)に郵送してください。なお、チラシをPDF化できる会員につきましては、以下のアドレスにファイルを添付してお送りください。

ホームページ掲載用チラシ送付先：柴田 聡さん

〒703-8282 岡山市中区平井1126-52 okayama-flute@mail.goo.ne.jp

【会報の封筒詰めのお知らせ】

7月号の会報の封筒詰めを、7月3日(火)午後7時から長谷川楽器店3階ホールで行います。会員の皆さまには、ぜひ、封筒詰めのお手伝いをお願いします。